

福祉にいがた

Fukushi Niigata

CONTENTS

巻頭特集

年頭のごあいさつ（2・3面）

- ・新潟県社会福祉協議会長
- ・新潟県共同募金会長
- ・新潟県知事

- 傾聴って？ーボランティアG会長に聞く
- 福祉フェア新潟会場もにぎやかに多彩に
- 「地域福祉文学大賞」ー受賞5作品決まる

1月号
2024
第857号



絵「黒姫」
作・永越環（上越市）



社会福祉
法人

新潟県社会福祉協議会

<https://www.fukushiniigata.or.jp/>

バックナンバー
こちらから

年頭のごあいさつ



社会福祉法人
新潟県社会福祉協議会
会長
竹内 希 六

令和6年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。皆様からは、日頃より社会福祉の推進に温かいご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症は、昨年5月に5類感染症に移行され、感染対策が緩和されましたが、福祉の現場では依然として感染対策へのご努力が続けられていると存じます。当協議会におきましては基本的な感染対策を継続しつつも、昨年10月に4年ぶりに参加人数を制限しない形で、新潟県民福祉大会を上越文化会館で実施したところです。

また、新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金の特例貸付については、一昨年9月30日に申請受付が終了し、現在、貸付金の債権管理を行うとともに、借受人の皆様の日も早い自立に向けて、市町村社会

福祉協議会などの関係者とともに支援を行っているところです。

近年の人口減少下における少子・高齢化の急速な進行や核家族化、さらには今般の新型コロナウイルスの影響などにより、社会的孤立や経済的困窮をはじめとするさまざまな福祉課題・生活課題が顕在化してきており、地域福祉活動の拡充や強化はより一層大きな課題となります。

当協議会といたしましても「共に生き、共につくる福祉社会を目指して」を基本理念のもと、地域共生社会実現に向けた基盤構築や権利擁護の推進、福祉人材の確保・育成などの事業において皆様と連携・協働して、引き続き尽力してまいります。

私どもの取り組みへの一層のご理解、ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



社会福祉法人
新潟県共同募金会
会長
佐藤 明

謹んで年頭のごあいさつを申し上げます。

昭和22年に国民たすけあい運動として始まった共同募金運動も77回目を迎え、昨年度までに寄せられた寄付金の累計は266億円余りとなりました。

これもひとえに皆様方からの温かいご支援・ご協力の賜物であり、改めて心より感謝申し上げます。

令和5年度は募金目標額を4億7322万円と定め、その達成に向けて懸命に取り組んでおり、皆様方からお寄せいただいた寄付金は県内のさまざまな民間福祉活動やボランティア活動、さらには災害時の被災地支援などに活用させていただきます。

新型コロナウイルスが5類に移行し、社会経済活動も感染禍前の状況に回復しつつありますが、急激な物価高騰などの影響で、経済的に困窮する人や

孤立する人の増加・固定化が依然として大きな課題となっております、ひとり親家庭を中心とした困窮世帯への食料支援やメンタルケア活動への支援、子どもの居場所づくり支援なども引き続き重点的に行います。

また1月からは、障害者支援や貧困対応、自殺防止運動など特定のテーマに絞って、助成を受ける団体が積極的募金活動に参加する「いがた・新テーマ型募金」と、高齢者世帯などの除雪を支援する「あつたか雪募金」も始まりました。

新潟県共同募金会は、これからも県内の地域福祉活動を支援するため、更なる努力を続けてまいります。赤い羽根共同募金運動に今後とも、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。



新潟県知事
花角英世

令和6年の年頭に当たり、謹んで新春のごあいさつを申し上げます。

県民の皆様から再び信任を頂いてから1年半、県民の皆様の安全と安心を確保することを第一に、活力のある新潟県の実現を目指し、2期目の県政運営に取り組んでおります。人口減少という深刻な課題を抱える新潟県にとって、若い世代を中心に魅力ある働く場として、新しいことに挑戦できる場として、そして多くの方々から訪れる場として「選ばれる」よう、本年も最大の取り組みを進めてまいります。

さて、近年の地域社会を取り巻く状況を見ますと、少子・高齢化の進行、地域のつながりの希薄化による社会的孤立など福祉分野における課題が多様化・複合化しております。

こうしたさまざまな福祉課題や地域のニーズに対応し、地域共生社会を

現するため、県では、市町村や地域の団体等関係機関と連携し、地域において世代や属性を問わず課題を包括的に受け止める相談支援体制の構築など、地域共生社会の実現に向けた取り組みをより着実に進めてまいります。

また、子育てに優しい社会の実現に向けて、経済的支援、結婚支援、子ども環境整備を3つの柱として、結婚から妊娠・出産・子育てまでの切れ目のない支援を強化・推進するなど、関係機関と連携しながら、社会全体で子育てを応援する機運の醸成に取り組みまいります。

今後とも皆様からご理解を頂き、一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。

本年の皆様の益々のご発展とご健勝をお祈り申し上げます、新年のごあいさつといたします。

謹賀新年

(一財)新潟県民生委員児童委員協議会

会長 本多 満理子

(二財)新潟県老人クラブ連合会

会長 富 沢 哲

(一社)新潟県母子寡婦福祉連合会

会長 茂 又悦子

(一社)新潟県手をつなぐ育成会

理事長 皆川 栄子

(一社)新潟県老人福祉施設協議会

会長 山 田 淳子

新潟県ホームヘルパー協議会

会長 岩 崎 典子

新潟県保育連盟

理事長代行 南 雲 洋子

新潟県私立保育園・認定こども園連盟

会長 伊 東 一 男

新潟県保育士会

会長 山 田 文子

新潟県社会福祉法人経営者協議会

会長 平 澤 正 人

(公社)新潟県社会福祉士会

会長 渡 辺 陽 一

(公社)新潟県介護福祉士会

会長 大 井 秀 行

新潟県内社協職員連絡会

会長 須 藤 信 宏

新潟県社会就労センター連絡協議会

会長 寺 口 能 弘

(一社)新潟県介護支援専門員協会

会長 佐 々 木 勝 則

新潟県災害福祉広域支援ネットワーク協議会

会長 竹 内 希 六

(新潟ユニゾン)プラザ入居福祉団体





ちびっ子ボクサー ボクシングを習っている子どもたちばかりのようで、パンチの打ち方などを村田元プロから褒められていた



ボクが患者さんのお薬を用意 子どもらが薬剤師体験。チョコ菓子を薬に見立て、白衣を着て1回服用分ずつ分包機で小分け

ミット打ち練習 トにちびっ子ボクサーがパンチ!



多様に多彩に見て触れて



混み合う会場内 来場者で混み合う福祉事業所の出店エリア



ナース体験で赤ちゃんお世話 病院のブースは子どもたちにナース服を用意し、赤ちゃんの人形でお世話にチャレンジ

シニア川柳で表彰 ひねりはピリリと 年の功、



最新！福祉車両 車いすを、安定した動きでスムーズに載せた



慢性腎臓病2題 慢性腎臓病について、医師が解説④。栄養学の大学准教授が食事をアドバイス④



タッチセラピー 触れて癒やすビューティータッチセラピーの体験会

共生社会追い求め わくわく

福祉・介護・健康フェア in 新潟

地域共生社会について考えるイベント「福祉・介護・健康フェア2023 in 新潟」(主催・新潟日報社、県社会福祉協議会、新潟市社協)が11月25日、新潟市中央区の市産業振興センター

で開かれ、冬型の天候であいにく冷え込んだ1日でしたが、会場は終日にぎわいました。ステージイベントでは元プロボクサーでロンドン五輪金メダリストの村田諒太さんらが登壇したほか、福祉事業所の出店、企業ブース、農福マルシェ、飲食など、多くのコーナーも大にぎわい。県内3会場で開かれた今年度のフェアを締めくくりました。

元プロボクサー
村田諒太さん
人生享受へ筋力維持

生きることに一番大切

全盲落語家
桂福点さん

ステージ
イベント



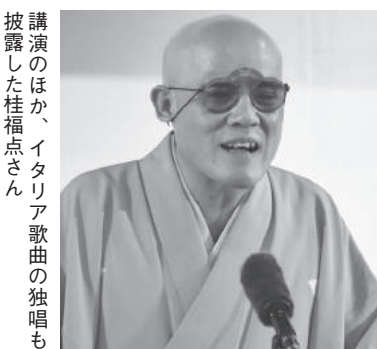
教え子の高橋竜平元プロの持つドラムミットに右ストレートを打ち込む村田諒太さん。轟音が響き会場は息を飲んだ

村田さんは、母校・東洋大学ボクシング部コーチ時代の教え子、加茂市出身の元プロボクサー高橋竜平さんを伴って登場しました。村田さんはステージ下で、事前募集した小学生ボクサー10人にシャドーボク

シングやミット打ちなどを指導した後、高橋さんが抱えるドラムミットに強烈なストレートパンチを放つと「バーン!」と大音響。パンチの威力と迫力に会場は驚いていました。

「健康と生涯 スポーツの大切さ」と題したトークショーで村田さんは「引退後も筋肉量維持に努めている。人生のフィナーレを健康でより良いものにするため、人生を享受するためにトレニングを続ける」と語りました。さらに「目の前のものに懸命に取り組

めば、いびつな形でも夢はかなう」と力説しました。「出会いは心の光」と題した講演で、全盲の落語家桂福点さんは高校時代、先天性緑内障で視力をほぼ失いかけて絶望し死を考えていたそうで「その時に、障害のある中学生のボーイソプラノの歌声に感動した。あの子は命が限られているのに、自分は見えなくなるだけ。一番大事なのは生きることと気づかされ、死を考えずに前を向くようになった」と語りました。今回のフェアは福祉や高齢、健康に関する講座やセミナーも充実。それぞれの専門職が解説しました。また、福祉事業所に限らず、企業や団体などの出展も多く、それぞれに来場者でにぎわいました。



講演のほか、イタリア歌曲の独唱も披露した桂福点さん



赤い羽根情報



記念撮影する「たすけあい作文コンクール」入賞者たち

小中生たすけあい作文 県知事賞に 石野さん(上越小6)

新潟県共同募金会が主催する「第71回たすけあい作文コンクール」の表彰式が11月18日、新潟市中央区の新潟ユニゾンプラザで行われました。

令和5年度は県内22の小中学校から62点の応募があり、入賞6点と佳作20点が選ばれました。

式では受賞者を代表して、新潟県知事賞を受けた、上越市立黒田小学校6年生石野愛華まなかさんが「誰もが笑顔で暮らせるように、これからも自分でできることを考え行動していきたいです」

す」とあいさつしました。
なお、入賞作文は新潟県共同募金会ホームページからご覧いただけます。

入賞者は次の通り。
県知事賞 石野愛華さん(上

越市立黒田小学校6年)▽県教育委員会教育長賞 酒井麻寛まひろさん(県立柏崎翔洋中等教育学校2年)▽新潟日報社長賞 渡辺みのりさん(上越市立安塚中学校3年)▽NHK新潟放送局長

賞 渋谷蘭花らんかさん(三条市立栄北小学校6年)▽県社会福祉協議会長賞 會澤琥珀こはくさん(新潟市立白山小学校3年)▽県共同募金会長賞 草間吏穂あきほさん(糸魚川市立能生中学校1年)

令和5年度 にいがた・新テーマ型募金 参加団体と募金目標額	団体名	本部所在地	活動テーマ	目標額
	NPO法人OHANA	新潟市	居場所づくり、子ども食堂運営、相談支援事業など	2,000,000
	新潟いのちの電話	新潟市	中学生を対象に「いのちの電話カード」の配布など	500,000
	新潟NPO協会	新潟市	生きづらさを抱えた人を支援する、さまざまなNPOの情報発信と勉強会	100,000
	フードバンクにいがた	新潟市	フードバンク事業(フードドライブ・寄贈、提供食品の管理・運搬)	2,000,000
	いきいき健康家族オアシス	新潟市	フリースペース、居場所、子ども食堂などの運営	100,000
	教員サポートSmileういんず	新潟市	支援を必要とする子どもたちなどのクラスサポート	850,000
	健康サポートプラス	新潟市	「そらとぶしっぽ無料塾」(ひとり親世帯を対象とした無料塾)	450,000
	上越地区手をつなぐ育成会	上越市	障害児者の保護者及び関係者への将来へ向けての情報提供支援及び相談支援事業	100,000
	かみえちご山里ファン倶楽部	上越市	子どもの居場所づくり、放課後教室事業など	600,000
	新潟県フードバンク連絡協議会	三条市	ひとり親世帯への食料援助など	2,000,000
	フードバンクしばた	新発田市	子どもの貧困世帯・学生への食糧支援、病児保育など包括的支援	3,000,000
	NPOかも小町	加茂市	認知症カフェの運営、フレイル予防支援など	1,000,000
	フォルトネット	十日町市	引きこもり当事者の相談事業など	200,000
	みつけ・ふれあい食堂	見附市	子ども食堂の開催	200,000
	フードバンクみつけ	見附市	ひとり親家庭等への食支援	500,000
	みんなの実家 グリーンホームふたば	見附市	障害者支援施設の整備・運営	500,000
	フードバンクさんぼく	村上市	地域ぐるみで取り組む子どもの居場所づくりと体験活動支援	300,000
	胎内市フードバンク協議会	胎内市	ひとり親世帯への食料支援、福祉的アウトリーチ活動など	300,000
	ミンナのチカラ	胎内市	引きこもり当事者とその家族の居場所づくりなど	150,000
			計19団体	14,850,000

テーマ型募金 今年も実施中

自分の募金が応援したい活動や福祉団体への助成に充てられる「にいがた・新テーマ型募金」が令和5年度も1月1日にスタート、3月31日まで実施中です。

この募金は福祉に関わる団体が力を入れるテーマと目標額を示して寄付を募集します。そのテーマに賛同した個人や企業が県共同募金会を通じて寄付する仕組みです。

今回は19団体が参加、計1485万円の目標を掲げています。表参照。皆様のご協力をよろしくお願ひします。

なお、団体の活動内容の詳細については新潟県共同募金会ホームページでも紹介しています。

人手不足⇕求む仕事

企業と福祉事業所 マッチング初交流

新潟市



企業と障がい者が会う大交流会

県内で人手不足の企業と仕事を求める福祉事業所のマッチング「企業と障がい者が会う大交流会」が11月22日、新潟市中央区のホテルで開かれました。

正明さんは障害者アートレンタル事業「まちごと美術館CotoCoto」などにも取り組んでいます。

参加したのは企業側が県内各地から建設、印刷、不動産、飲食、広告、メーカーなどさまざまな業種の約70社。障害者側は約30の福祉事業所などが参加し、うち10事業所がブースを構えチラシを配付し、木工や雑貨などの生産品を展示しアピールしました。

会場では名刺交換したり、談笑したりする姿があちらこちらで見られました。参加した企業関係者は「作業に支障がないなら、障害者に雇用の門戸を開きたい」「福祉事業所の生産作業には興味を引くものも

あった」と話しました。

一方、福祉事業所側も「企業側、福祉事業側とも知り合いになり、情報や意見の交換ができて有意義だった」と満足そうでした。

この後、神戸市で福祉事業所を運営する福田裕土さんが「ビジネス成長戦略として活かせる福祉的視点」と題して講演しました。

雇用した障害者について「まず仕事ができる」と設定（確信）する。ここからしか何も始まらない」と力説。その上で雇用側から①明確な指示②適切な介入③助④的確な評価⑤があれば、働き手は必ず成長すると訴えました。



福田裕土さんの講演

認知症のこと、ひとりで悩んでいませんか？ ～お気軽にご相談ください～

新潟県認知症 コールセンター

相談電話

025-281-2783

にわかやみ

【所在地】〒950-8575 新潟市中央区上所2-2-2 新潟ユニゾンプラザ3階(来所相談も可)

【相談時間】月曜日～金曜日(祝日・年末年始を除く) 9:00～17:00

特養などの高齢者施設、
訪問介護、障害者の支援施設、
こども園 など

職員が
お願いや苦情を
聞いてくれない

職員の言葉遣いや
言い方がキツく
嫌な思いをしている

施設内でケガをしたが
職員の説明や対応に
納得できない

福祉サービスについて、事業者にも相談しても解決しない、また、話しにくい場合は

新潟県福祉サービス運営適正化委員会

〒950-8575 新潟市中央区上所2丁目2番2号 新潟ユニゾンプラザ3階

TEL.025-281-5609

相談無料 秘密厳守

FAX.025-281-5610

メールアドレス kujou@fukushiniigata.or.jp

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

ボランティア活動保険



保険金額・年間保険料 (1名あたり) 団体割引20%適用済 / 過去の損害率による割増適用

プラン		基本プラン	天災・地震補償プラン	特定感染症重点プラン	
ケガの補償	死亡保険金	1,040万円			
	後遺障害保険金	1,040万円(限度額)			
	入院保険金日額	6,500円			
	手術保険金	入院中の手術	65,000円		
		外来の手術	32,500円		
	通院保険金日額	4,000円			
	特定感染症	補償開始日から10日以内は補償対象外 ^(*)	初日から補償		
賠償責任の補償	地震・噴火・津波による死傷	×	○	○	
	賠償責任保険金 (対人・対物共通)	5億円(限度額)			
年間保険料		350円	500円	550円	

商品パンフレットは
コチラから



(ふくしの保険
ホームページ)

*3月末までに契約手続きが完了し、前年度から継続して契約される場合は初日から補償します。

<重要>

- ◆ 基本プランでは地震・噴火・津波に起因する死傷は補償されません。
- ◆ 特定感染症重点プランでは中途加入の場合でも補償開始日より特定感染症が補償対象となります。
- ◆ 年度途中でご加入される場合も上記の保険料となります。
- ◆ 中途脱退による保険料の返金はありません。
- ◆ 途中でボランティアの入替や、ご加入プランの変更はできません。
- ◆ ご加入は、お1人につきいずれかのプラン1口のみとなります。

ボランティア行先用保険 (傷害保険、国内旅行傷害保険特約付傷害保険、賠償責任保険)

送迎サービス補償 (傷害保険)

福祉サービス総合補償 (傷害保険、賠償責任保険、約定履行費用保険(オプション))

● このご案内は概要を説明したものです。詳細は、「ボランティア活動保険パンフレット」にてご確認ください。●

団体契約者 **社会福祉法人 全国社会福祉協議会**

取扱代理店 **株式会社 福祉保険サービス**

〈引受幹事 損害保険ジャパン株式会社 医療・福祉開発部 第二課 保険会社〉

TEL: 03 (3349) 5137

受付時間: 平日の9:00~17:00 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

この保険は、全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約です。

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667

受付時間: 平日の9:30~17:30 (土日・祝日、年末年始を除きます。)

全国公募の「地域福祉文学大賞」

大賞に竹田さん(神奈川)

「さくらの夏休み」

新潟市西区社会福祉協議会が今夏、全国から募集していた「地域福祉文学大賞」の小説の受賞作発表が11月30日に行われ、大賞に竹田有友己さん(神奈川県)の「さくらの夏休み」が選ばれました。

大賞の「さくらの夏休み」は、主人公さくらが東京での仕事に疲れたのか、子どものころに夏休みを過ごし



「地域福祉文学大賞」受賞作の発表

た、新潟の祖母の家を懐かしみ、急ぎよ、向かいます。既に故人の祖母の家で、社会福祉協議会の女性ケースワーカーと出会い、それを機に、さくら自身が祖母の生きた軌跡をたどり始めるという筋立てで、人と人がつながることの大切さや福祉の温かさを描き出そうとした作品です。

部門賞は、社協部門が大塚遥香さん(静岡県)の「成年後見センターへようこそ」、民生委員部門がオオバレイコさん(東京都)の「民生委員・桑名シラネの初仕事」、災害ボランティアセンター部門が新港公寿さん(新潟県)の「未知の世界に向かって」に決まりました。当初、予定にはなかった特別賞・西区社協賞が設けられ、トン敦敦さん(京都府)の「判官舟かくし」が受賞しました。

た」と高く評価されました。部門賞は、社協部門が大塚遥香さん(静岡県)の「成年後見センターへようこそ」、民生委員部門がオオバレイコさん(東京都)の「民生委員・桑名シラネの初仕事」、災害ボランティアセンター部門が新港公寿さん(新潟県)の「未知の世界に向かって」に決まりました。当初、予定にはなかった特別賞・西区社協賞が設けられ、トン敦敦さん(京都府)の「判官舟かくし」が受賞しました。

民生委員や大学生、社協職員など計12人が選考委員となって審査。その結果が、11月30日に西区の黒埼市民会館で開かれた西区地域福祉推進フォーラムの席上、発表されました。

職員は「社協や地域福祉に関した、優れた小説作品が全国から寄せられ、職員も私たちが読んで楽しみました。小説の力を借りて『福祉や社協は楽しい』ということを発信できたらいい」と話しました。

受賞作収録 冊子を無料贈呈 西区社協窓口へ 郵送対応も



「地域福祉文学大賞」受賞作5点を収録した冊子

西区社協は、文学大賞の受賞作5点を収録した冊子(A5判98ページ)Ⅱ写真Ⅱを2千冊作成、希望者に無料で贈呈しています。

希望者は西区社協の窓口
に直接出向くか、日本郵便の「スマートレター」(180円)を返信用として自身の住所や名前などを記入、西区社協に送ると、スマートレターに冊子を入れ
て送り返しても
贈呈はスマートレター1つにつき1冊で、複数冊を希望の場合、冊数分のスマートレターが必要です。
スマートレターの送付先は〒950-0200
54 新潟市西区寺尾東3ノ14ノ41 新潟市西区社会福祉協議会 地域福祉文学大賞担当者宛 問い合わせは025(211)1630。

気持ち理解し寄り添う

傾聴

つてなくに？



傾聴ボランティアグループ
宙そらの会 (新潟市中央区)
小松原 秀平 会長

ボランティア活動に関心が集まり、中でも「傾聴ボランティア」がブームだという。特別な資格は不要で、すぐお役に立てそうな点が人気の理由らしいが、ところで、傾聴ボランティアとは何をするのだろうか。主に新潟市中央区で活動する傾聴ボランティアグループ「宙そらの会」が年に1度開催する「入門者特別講習会」を受講するとともに、小松原秀平会長に取材し、インタビュー記事にまとめた。

悩み、話すうちに整理

解決のヒント 自ら見付けるお手伝い

「傾聴の歴史を教えてください。」
「傾聴に関する言葉は、紀元前の古代ギリシャ哲学者や、近代の精神科医、心理学者が残しています。日

本では1990年代、末期患者のホスピス病棟で傾聴が用いられたそうです」
「傾聴とは「聴く(聞く)」ことと考えていいか。」
「文字通り『聴く』こと

ですが、それだけでない。言葉で理解できるものではなく、実際に体験しながら理解していくものです」
「もう少し具体的に。」
「誰しも自分の考えが理解されることはうれしい。

傾聴は話し手の気持ちを理解し、その気持ちを受け止めて寄り添うことです」
「傾聴の目的は、話し手にうれしい気持ちになってもらうことか？」
「それ以上に、誰しも悩みや迷いを抱えていて、その解決方法を自分で見付け出せれば一番いい。しかし、そう簡単ではない。そこで、傾聴を通じて、話し手が悩みや迷いを話し続けるうち

に、問題点が整理されていき、解決のヒントに気がつくことがある。そのお手伝いをしていくのです」
「傾聴の仕方やノウハウは定められているのか？」
「傾聴の定義は確立されていない。傾聴をどう進めるのか、それぞれのグループが決められています」

「傾聴ボランティア」
「宙そらの会」は新潟市内で傾聴ボランティアは6グループが活動中。その1つ「宙そらの会」は平成24(2012)年に発足。会員は主に60〜70代の約20人で、活動エリアは主に中央区。西区で活動することもある。
毎月第1水曜日に新潟市総合福祉会館(中央区八千代)で定例会を開き、会員の勉強会としている。毎年夏には定例会を利用して「初心者講習会」を2回、開く。今年度は会員のほか、受講希望の約20人が参加した。
日頃の傾聴活動は1人でなく複数人(主に2人)で、要請のあった高齢者施設や緩和ケア病棟、個人宅を訪問。1回1時間の目安で傾聴する。

傾聴の定義は未確立 活動把握に会則大切

「傾聴の定義は確立されていない。傾聴をどう進めるのか、それぞれのグループが決められています」

ホスピスで傾聴 小松原さん願う

「人生悪くなかった」

思ってもらえたら・・・

「そのグループの傾聴の仕方をどうすれば知ることが出来る？」

「会則を読むのがいいですね。会則の定めていることが、自分の考え方や好みと合っているかどうかを判断しましょう」

「上手に傾聴する、つまり、聞くコツは？」



「宙の会」の入門者講習会 令和5年9月

「話し手の気持ちを引き出すには話し手と聞き手の関係づくり

が欠かせない。そのために『そっかあ』

『本当だねえ』

『良かったねえ』

『分かるなあ』

など、適切な

なあいづちや受け止めの言葉が役立ちます」

「聞いてばかりではストレスがたまるのでは？」

「分かるなあ」「良かったねえ」・・・

有効なあいづち

上手に聞く

「確かにストレスのもとになりかねない。でも、経

験を積んでゆくと、ストレスをためない傾聴ができるようになります」

「逆に、傾聴で慎むべきことはあるか？」

「話し手が信頼して話すようになって『助言』

取材を終えて

傾聴ボランティアについて取材したいと思ったのは小松原秀平会長の講義を聞いたのがきっかけだった。会長は「シニアカレッジ新潟」に、地域活動実践者の1人として登壇し、講師を務めた。

安らかな最期のお役に

「傾聴」ますます興味

「講義の中で、とりわけ興味を引いたのは、死期が近づくホスピス患者への傾聴だった。

「人生、悪くなかったと思っほしい」との願いを込めて傾聴するという。

『評価しない』『詮索しない』が基本です」

「ホスピスでの傾聴について話してほしい。余命いくばくも無い患者さんたちに『人生は悪くなかった』と思ってもらえたら。秘かな願いです。そのため『人生の良かった事を聞かせてください』と話しかけます」

「傾聴ボランティアがブームと言われる訳は？

「資格はないし、専門的知識がなくても手軽に始め

ある医療関係者の話では命が尽きる際、人生を後悔しない人は本当に少ないそう。後悔や無念はあれど、それでも、せめて「良い事もあった」と思い直すことができたら。」

「ただ、どうすればそのような

取材の結果、もくろみは見事に外れた。人生を上書きするような特段のテクニックなど、やはり、あるはずもない。

小松原さんは「あなたの人生の良かった事を聞かせてください」と話しかけるといい。良かった事を思い出して語っているうち、人は幸せな気分になれるのか。確かに、胸中が後悔と無念だけの場合と比べたら、どちらが良いかは明白だろう。

人生を安らかに閉じるお手伝いができるなら。傾聴活動への興味が深まった。

（佐野）

上野千鶴子東大名 教授が講演

「今の介護保険守って」

身寄りなし研
年未シンポ

ベストセラー「おひとりさまの老後」などで知られる、東京大学名誉教授で社会学者の上野千鶴子氏が12月3日、新潟市中央区内で講演。導入から23年の介護保険について「今の制度をどんなことがあっても守って」と訴えました。

招かれ、第一部で「介護保険が可能にした在宅ひとり死」と題し基調講演。約200人が参加しました。

上野氏は「かつて、死は家族中の死、共同体の中の死だったが、価値観の変化などで今は『その人らしい死』が求められるようになった」と前置き。

「お年寄りは最期まで家にいるのが悲願。家族に迷惑をかけなければ、家で死にたいと思ってる」とし、たうえで「『1人で死なせたくない』は



ユーモア交え 厳粛な「死」についても時にユーモアを交えて語った上野千鶴子氏=だいしほくえつホール

本人でなく家族の思い」在宅ひとり死は同居者がいない方がやりやすい」などと、独居の勝手の良さにも触れ

ました。

在宅でひとり死を迎える費用について「月額40万〜50万円を要する。そのうち自己負担は月5万〜8万円。それで家で死ねる」と解説しました。

介護保険について「制度ができた時に『やった』」と思い、介護保険ウオッチャーとなった。制度のおかげで、さまざまな施設が利用でき、親を1人で実家に置いておけると、その有用性を語りました。

そのうえで「政府部内でまた制度の改定論議が進められている。利用を要介護度3以上の重度者に限定しようとしたり、ケアプラン作成を有料化しようとしたり、使いにくくなる内容だと指摘。「毎月、介護保険料を払ったのに、いざという時に使いにくい、使えない」では困る。これでは『保険詐欺』になりかねない。何があっても今の制度を守ってほしい」と、現行制度の死守を訴えました。

パレット新潟店営業日

2024年 1月							2024年 2月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6					1	2	3
7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10
14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17
21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24
28	29	30	31				25	26	27	28	29		

営業時間 11:30~16:30 □…は休業日



福祉の店 パレット情報

編集後記

新年。子どもの頃は正月が楽しみだった。お年玉やごちそう、年賀状がうれしかった。「今年こそ」と、新しい年に期待もした。ところが、最近では新年が怖い。年が明けると、想像もしないことが起こってきたからだ。

4年前は新型コロナウイルス感染が世界中に広がった。2年前はロシアのウクライナ侵攻が始まった。昨秋からイスラエルとハマスの戦闘を始め、民族間の憎悪の根深さを浮き彫りにした。ニュースは血まみれの子どもの女性らを連日報じる。人間は歴史に学んだはずなのに、なぜ同じ過ちを繰り返すのか。

歴史の流れや世界の動きは1人の力でどうかなるものでない。それでも、新年もより誠実に温和に生きることが目指そう。同じような個人の思いが1つに集まって地域へ広がり、世界を覆い尽くして平和に染められたらいいのに。「浅き夢見し」か、わが初夢は。(佐)

この機関誌は、赤い羽根共同募金の助成を受け発行しています。

発行所/社会福祉法人 新潟県社会福祉協議会
新潟市中央区上所2-2-2ユニゾンプラザ
☎ 025-281-5584
発行人/関原 貢
定 価/5円 (会員の購読料は会費に含む)

福祉にいがた
令和6年1月1日発行 (毎月1日発行)
印刷/島津印刷株式会社